

2017年8月28日
東日本旅客鉄道株式会社

総合防災訓練の実施について

- JR東日本では、8月30日からの「防災週間」を中心に、総合防災訓練を実施します。
- 本社総合防災訓練では、都心南部を震源とするM7.3の地震を想定し、情報収集等の初動対応訓練を本社、支社及び現業機関が連携して実施します。
- 訓練は以下の内容を中心に実施します。
 - ・ 対策本部の設置・運営訓練
 - ・ 安否確認訓練
 - ・ 実動訓練（救助・救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）
- 自治体等と連携した訓練も実施します。

1 日 時

2017年9月1日（金）を中心とし、本社及び各支社にて設定

2 訓練の想定

【本社並びに東京、横浜、八王子、大宮、千葉及び高崎支社】

対策本部の設置・運営訓練を行います。訓練は「7時00分に都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、首都圏の列車が運転中止となり、列車脱線や駅舎一部倒壊により多数の人的被害が生じている」という想定で行います。

一部の駅においては、広範囲で長時間にわたり運転中止となる地震発生を想定し、駅に滞留したお客さまの誘導訓練等を行います。

【上記以外の各支社】

各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行います。

3 主な訓練内容

① 対策本部の設置・運営訓練

発災直後、本社対策本部を高崎支社に設置し、初動対応訓練を行います。

本社対策本部に関わる社員は、本社ビルへの非常参集を行います。本社ビルの体制が整った段階で高崎支社に設置した対策本部を本社に引き継ぎます。その後、当日任意に選ばれた社員で情報収集・集約訓練を行います。

各支社対策本部に関わる社員は、各支社ビルに非常参集を行います。体制が整った段階で、支社対策本部を設置し、限られた社員で情報収集及び状況報告等を行います。

本社対策本部と支社対策本部との間で、衛星電話等の非常用通信設備をはじめとした多様な手段を活用して、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行います。

② 安否確認訓練

全社員を対象とし、社員及びその家族の安否確認訓練を実施します。

③ 非常参集訓練

本社及び各支社の社員は勤務箇所や最寄り駅等の予め定められた箇所へ非常参集を行います。最寄り駅に非常参集する社員は、駅で開催する実動訓練等に参加します。

④ 救助・救命等の実動訓練

駅を中心とした現業機関においては、お客さまの避難誘導、救助救命、初期消火等の実動訓練を実施します。また、一部、自治体等と連携した訓練も実施します。

2017年度総合防災訓練の主な実施箇所

| 支社 | 実施箇所 | 日時 | 参加予定人数 | 訓練 | 訓練内容 |
|-----|-----------------------------|------------------------|---------|---|---|
| 本社 | 本社ビル | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約1,500名 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、本社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。なお、情報伝達訓練は、支社と連動した訓練を行います。 |
| 東京 | 東京支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約2,000人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。なお、情報伝達訓練は、本社や現業機関と連動した訓練を行います。 |
| | 新宿駅 | 9月1日(金) 10:00～11:00 | 約170人 | 避難誘導訓練 救助・救命訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、避難誘導訓練を実施します。その後、JR新宿ミライナタワーと合同で新宿消防署の協力をいただき、応急手当、AEDや消火器の取扱い訓練を実施します。また、新宿消防署による演習も併せて実施します。 |
| | 池袋駅 | 9月1日(金) 10:00～12:00 | 約200人 | 初期消火訓練 救助・救命訓練 避難誘導訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、駅地下構内店舗より火災発生及び改札内で負傷者が発生したことを想定し、社員、グループ会社及び関係協議会等と合同で初期消火訓練、重傷者搬送訓練、避難誘導訓練を実施します。地上では救助・救命訓練(AEDの取扱いを含む)、煙ハウスによる避難体験及びピンゴ車による高所体験などを消防署の指導により実施します。 |
| 横浜 | 横浜支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約4,500人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。なお、情報伝達訓練は、本社や現業機関と連動した訓練を行います。 |
| | 鎌倉車両センター | 9月1日(金) 9:30～12:30 | 約250人 | 降車誘導訓練 救助・救命訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震により走行中の列車が緊急停止し、架線が切断されているため空気が効かなくなり、また、列車内でお客さまが負傷されたことを想定し、安全な場所への避難誘導のほか、鎌倉市役所、鎌倉消防署及び近隣の大船高校の協力を得て救助・救命訓練を実施します。 |
| | 横浜支社 | 9月8日(金) 9:00～14:00 | 約30人 | 社員派遣訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生に伴い、横須賀駅付近の逸見トンネルの崩壊により列車が脱線し、陸路からの応援ができないことを想定し、提携している船舶会社の船を活用し海上からの社員の応援派遣を行う訓練を実施します。 |
| 八王子 | 八王子支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約450人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。なお、情報伝達訓練は、本社や現業機関と連動した訓練を行います。 |
| 大宮 | 大宮支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約500人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。なお、情報伝達訓練は、本社や現業機関と連動した訓練を行います。また、衛星車載局をさいたま車両センターに出力させ、現地と大宮支社対策本部との情報伝達訓練を行います。 |
| | さいたま車両センター | 9月1日(金) 9:30～11:00 | 約100人 | 救助・救命訓練 降車誘導訓練 | さいたま車両センター構内において走行中の列車が、地震の揺れで傾いた工事用車両に衝突したことに伴い、車内に多数の負傷者がいることを想定し、消防署の協力をいただき救助・救命訓練及びお客さまの降車誘導訓練等を実施します。 |
| 高崎 | 高崎支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約500人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。なお、情報伝達訓練は、本社や現業機関と連動した訓練を行います。 |
| | 熊谷地区 | 9月1日(金) 7:00～10:00 | 約10人 | 降車誘導訓練 | 高崎線熊谷貨物ターミナル上り線で緊急停止した列車から体調不良のお客さまが発生したほか、跨道橋からモーターが落下したことを想定し、お客さま救済を早急に手配する訓練を実施します。 |
| 水戸 | 水戸支社管内 | 9月1日(金) 7:00～12:00 | 約100人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 福島県沖を震源とする震度6弱の地震により駅舎や線路の被害が発生したことを想定し、72時間以内・最大限の救助・救命活動を行うために、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。 |
| | 水戸地区 (日立駅) | 9月1日(金) 9:30～11:40 | 約50人 | 救助・救命訓練 | 日立駅にて、日立駅社員及び消防署と合同で救出活動訓練を実施します。JRの非常参集者や消防本部の消防隊員による救出活動、応急手当などの訓練を実施します。 |
| | 水郡線営業所 (常陸大子駅) | 9月1日(金) 9:15～11:55 | 約50人 | 降車誘導訓練 救助・救命訓練 | 常陸大子駅構内にて、実際の列車を使用した降車誘導訓練を、クイックラダー等を用いて実施します。今年度は、地元の大子幼稚園にも協力をいただきます。また、お客さまの負傷を想定した救助・救命訓練を実施します。 |
| 千葉 | 千葉支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約800人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。なお、情報伝達訓練は、本社や現業機関と連動した訓練を行います。 |
| 仙台 | 仙台支社管内 | 9月1日(金) 9:00～12:00 | 約4,000人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 宮城県沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、気象庁から津波注意報が発表された範囲で運転中止となったことを想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、初動対応マニュアルに基づいた訓練、支社対策本部設置・運営訓練を実施します。 |
| 盛岡 | 盛岡支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約1,400人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 岩手県内陸を震源とする震度6強の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を行います。JRビル自衛消防隊による防災訓練については机上による訓練を実施します。 |
| | 青森、八戸、盛岡、北上、一ノ関の各地区 気仙沼駅 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約900人 | 救助・救命訓練 初期消火訓練 避難誘導訓練 各設備対応訓練 | 駅構内で負傷されたお客さまの救助・救命訓練、初期消火訓練、エレベーターからの救出訓練、帰宅困難者の一時避難箇所への誘導訓練、クイックラダー設置訓練及び踏切鳴動持続時対応訓練を実施します。設備関係では、レール破断復旧及び架線損傷復旧訓練等を実施いたします。 |
| 秋田 | 秋田支社管内 | 9月1日(金) 7:00～12:00 | 約600人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 秋田県北部を震源とする震度7の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練並びに災害用備蓄品・初動対応マニュアルの確認等を実施します。 |
| | 東能代駅構内 | 9月1日(金) 7:00～12:00 | 約100人 | 救助・救命訓練 列車脱線復旧訓練 | 東能代駅構内砕石線において、能代山本広域市町村圏組合消防本部と連携したお客さま救助や列車脱線復旧訓練などの実動訓練を実施します。 |
| 新潟 | 新潟支社管内 | 9月1日(金) 7:00～13:00 | 約550人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 新潟支社管内を震源とする震度7の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練を実施します。また、災害発生時の初動対応マニュアル、災害用物品の確認等を実施します。 |
| | 酒田、長岡、新津、新潟の各地区 | 9月1日(金) 7:00～12:00 | 約250人 | 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 津波避難誘導訓練 | 駅構内ではお客さまの避難誘導訓練を実施すると共に、駅間で停車した列車に負傷したお客さまがいることを想定して、現地对策本部を設置し消防署と協力した訓練を実施します。また、現地对策本部から支社対策本部へ情報伝達訓練を実施するほか、信越本線にて実際の列車を使用して、津波避難誘導訓練を実施します。 |
| 長野 | 長野支社管内 | 9月1日(金) 7:00～12:00 | 約300人 | 安否確認訓練 非常参集訓練 対策本部設置・運営訓練 情報伝達訓練 | 長野支社管内を震源とする震度7の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練を実施します。また、支社対策本部と現地对策本部間で非常用通信設備を用いた情報伝達訓練等の初動対応に重点を置いた訓練を実施します。 |
| | 長野、松本、小海、上諏訪、信濃大町の各地区 | 9月1日(金) 7:00～12:00 | 約250人 | 情報伝達訓練 避難誘導訓練 救助・救命訓練 初期消火訓練 | 支社対策本部と非常用通信設備を用いた情報伝達訓練を実施します。また、各箇所にてお客さまの避難誘導訓練、救助・救命訓練、初期消火訓練等を実施します。 |